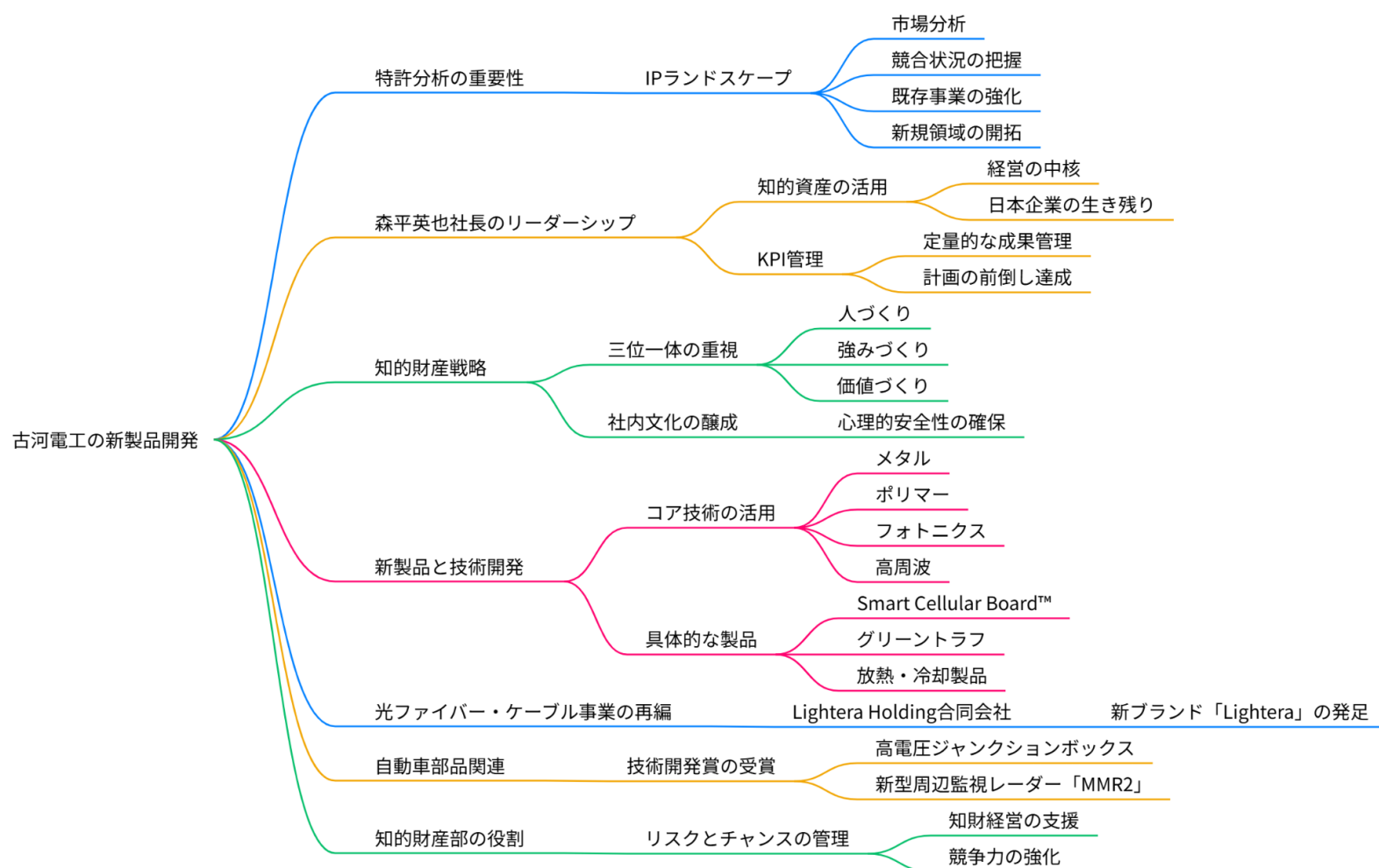


「古河電工が生んだ新製品の裏に特許分析あり、社長が重視する「無形資産経営」

Felo AI



古河電工の新製品開発は、徹底した特許分析（IPランドスケープ）に基づいて推進されており、その手法で市場や競合の状況を読み解きながら既存事業の強化と新規領域の開拓を行っています。代表の森平英也氏は、知的資産を経営の中核に据えなければ日本企業は生き残れないと強く主張。さらに、同社はこの戦略の成果を KPI として定量的に管理し、計画を前倒しで達成するなど、無形資産経営の実践的な取り組みが評価される内容となっています。記事は松元則雄氏によ

て執筆され、2025年4月3日に日経クロステックで発表されています。

詳細なレポート

古河電工は、特許分析（IP ランドスケープ）に基づいて新製品開発を推進し、市場や競合の状況を分析しながら既存事業の強化と新規領域の開拓を行っています。森平英也社長は、知的資産を経営の中核に据えなければ日本企業は生き残れないと主張しています。同社はこの戦略の成果を KPI として定量的に管理し、計画を前倒しで達成するなど、無形資産経営の実践的な取り組みが評価されています。記事は松元則雄氏によって執筆され、2025年4月3日に日経クロステックで発表されています[1]。

IP ランドスケープによる経営戦略

古河電工グループは、長期経営計画において、特許などの知的資産を経営資源として有効活用することを掲げています[1]。その柱の一つが「IP ランドスケープによる経営・事業戦略の策定力強化」です[1]。IP ランドスケープは、特許庁の定義によれば「経営・事業情報に知財情報を取り込んだ分析を実施し、その結果を経営者・事業責任者と共有すること」を指します[1]。古河電工では 2019 年から IP ランドスケープに関する取り組みを開始し、2021 年には知的財産部内に専任組織を設置しました[1]。同社は公知の特許情報だけでなく、競合企業の動向や事業環境の変化など、非特許情報も組み合わせ IP ランドスケープを実施しています[1]。

KPI 設定と目標達成

古河電工は IP ランドスケープに関する KPI（重要業績評価指標）を設け、2022～2025 年の中期経営計画で示したテーマを「事業強化・新事業創出テーマ」として設定し、これらのテーマに対する IP ランドスケープの実施率を KPI にしています[1]。テーマとしては、例えば光ファイバーケーブルや電力ケーブルシステム、バイポーラ型鉛蓄電池などに関するものが含まれています[1]。当初の目標は 2025 年度に実施率 100%にすることでしたが、2022 年度に 40%、2024 年度には前倒しで 100%を達成できる見込みです[1]。

森平英也社長のリーダーシップ

森平英也社長は、知的資産の活用を強化しなければ日本企業は立ちゆかなくなると語っています[1]。彼は金沢工業大学（KIT）虎ノ門大学院イノベーションマネジメント研究科の特別セミナーで講演した際にこの言葉を述べました[1]。森平社長は 1990 年に古河電工に入社し、2002 年から 2013 年まで知的財産部で契約や権利業務、係争対応などに携わりました[1]。大手企業のトップで、知財分野の豊富な経験を持つ人物は珍しいです[1]。

知的財産戦略

古河電工は「人づくり」「強みづくり」「価値づくり」の三位一体を重視し、全社員の知財リテラシー底上げを目指しています[1]。また、「心理的安全性」を高めるための仕組みづくり、雰囲気づくりを社内で推進し、誰もが遠慮なく意見を出せる文化を醸成しています[1]。

新製品と技術開発

古河電工は、ライフサイエンスや社会インフラ維持管理といった新たな分野での事業創出に取り組んでいます[24]。4つのコア技術（メタル、ポリマー、フォトニクス、高周波）を活用し、オープンイノベーションや多様なステークホルダーとの共創を推進しています[24]。具体的な製品としては、超電導線材、体内医療機器、位置検知ソリューション、道路附属物維持管理ソリューション、インフラ構造物向け表面処理ソリューションなどが挙げられます[24]。

近年発表された新製品や技術開発には以下のようなものがあります。

- Beyond 5G/6G 社会の実現に向けた低誘電材料「Smart Cellular Board™」の開発[23]
- 欧州環境製品宣言（EPD）を取得したグリーントラフ[23]
- 米国データセンター向け放熱・冷却製品の主要工場でカーボンニュートラル達成[23]
- 100%リサイクル銅を使用した銅箔で UL 2809 検証を完了[23]
- 半導体プロセス用テープの生産能力を増強[23]

光ファイバー・ケーブル事業の再編

2025年3月6日、古河電工は光ファイバー・ケーブル事業の運営体制を刷新し、中間持株会社「Lightera Holding 合同会社」を設立しました[28]。4月1日より新ブランド「Lightera」（ライテラ）が発足し、生成 AI・データセンター関連や 5G/6G といった成長市場でのプレゼンスを高め、電力、センシング、医療、航空・防衛などの市場を開拓することを目指しています[28]。

自動車部品関連

自動車部品関連では、第74回自動車技術会賞で「技術開発賞」を受賞しました[35]。いすゞ自動車の小型 EV トラック「エルフ EV」向けに高電圧ジャンクションボックスが採用され、新型周辺監視レーダー「MMR2」を開発・量産しています[35]。

知的財産活動の指標

古河電工の知財活動の特徴の一つは、収益機会のサステナビリティ指標として IP ランドスケープ実施率を設定していることです[5]。事業強化・新事業創出テーマに対する IP ランドスケープの実施率を KPI としており、知的資産を経営資源として活用する姿勢が明確に示されています[5]。

知的財産部の役割

知的財産部では、知的資産を事業に活用できる重要な経営資源の一つとして位置づけ、「リスクミニマム」と「チャンスマキシマム」の二つの観点で事業競争力を強化する「知財経営」を支えています[13]。具体的には、差別化した独自技術に対して知的財産戦略を実行し、「分析⇔活用」を起点としたサイクルを回す知的財産活動により、事業を強化しています[13]。

結論

古河電工は、IP ランドスケープを活用した経営戦略を積極的に推進し、知的資産を経営資源として最大限に活用することで、新製品開発や事業拡大に成功しています[1]。森平英也社長のリーダーシップのもと、全社員の知財リテラシー向上や心理的安全性の確保にも注力し、組織全体の知恵と創造性を引き出す取り組みを行っています[1]。今後も、古河電工の

「無形資産経営」に注目が集まることが予想されます。

項目	内容
記事タイトル	古河電工が生んだ新製品の裏に特許分析あり、社長が重視する「無形資産経営」
掲載メディア	日経クロステック
掲載日	2025年4月3日
記事のテーマ	IP ランドスケープを活用した経営戦略
古河電工の取り組み	特許などの知的資産を経営資源として有効活用、IP ランドスケープによる経営・事業戦略の策定力強化、全社員の知財リテラシー底上げ
森平英也社長のコメント	知的資産の活用を強化しなければ、今後日本企業は立ちゆかなくなる
IP ランドスケープの KPI	2022～2025 年の中期経営計画で示したテーマを「事業強化・新事業創出テーマ」として設定し、これらのテーマに対する IP ランドスケープの実施率を KPI に設定
主な新製品・技術開発	Beyond 5G/6G 社会の実現に向けた低誘電材料「Smart Cellular Board™」の開発、欧州環境製品宣言（EPD）を取得したグリーントラフ、米国データセンター向け放熱・冷却製品の主要工場でカーボンニュートラル達成など
光ファイバー・ケーブル事業の再編	中間持株会社「Lightera Holding 合同会社」を設立、新ブランド「Lightera」を発足

項目	内容
自動車部品関連	第74回自動車技術会賞で「技術開発賞」を受賞、いすゞ自動車の小型EVトラック「エルフEV」向けに高電圧ジャンクションボックスが採用、新型周辺監視レーダー「MMR2」を開発・量産

1. [古河電工が生んだ新製品の裏に特許分析あり、社長が重視する ...](#)
2. [日経ビジネス 発売日・バックナンバー — Fujisan](#)
3. [古河電工が「攻めの知財戦略」で事業拡大、生成AIで技術資産 ...](#)
4. [早稲田大学の人物一覧 — Wikipedia](#)
5. [収益機会のサステナビリティ指標としてIPランドスケープ実施 ...](#)
6. [CSV（全項目） — えどがわ産業ナビ](#)
7. [古河電工会長「知財で合弁有利」 知財・無形資産シンポ](#)
- 8.
9. [古河電気工業株式会社 代表取締役社長の森平英也氏をお招きし](#)
10. [社長が重視する「無形資産経営」 | 日経クロステック \(xTECH\)](#)
11. [経営に近づく知財部署、旭化成では企業買収や売却判断の支援も](#)
12. [古河電の知財活動 マインドチェンジ](#)
13. [知的財産部 | 研究開発体制 — 古河電工](#)
14. [古河電工の知的財産報告書2023](#)
15. [古河電工の知財KPI](#)
16. [古河電気工業株式会社の特許登録一覧 — IP Force](#)
17. [設立20周年記念セミナー『知財・無形資産経営を推進する古河 ...](#)
18. [古河電気工業株式会社 \(特許分析レポート・日本\)](#)
19. [特許調査・技術動向調査 — 古河テクノリサーチ](#)
20. ["攻めの知財"への転換 企業価値創造に資する知財カンファレンス](#)
21. [古河電工産業電線株式会社の特許登録一覧 — IP Force](#)
22. [役員の経歴 | 企業情報 | 古河電気工業株式会社](#)
23. [Functional Products | News Release | Furukawa Electric Co ...](#)
24. [新事業・開発品 | 製品情報 | 古河電気工業株式会社](#)

25. [ニュースリリース | 古河電気工業株式会社](#)
26. [New Business / Development Products](#)
27. [2025 | ニュースリリース | 古河電気工業株式会社](#)
28. [古河電工が光ファイバー・ケーブル事業の運営体制を刷新 新 ...](#)
29. [Products | Furukawa Electric Co., Ltd.](#)
30. [2023 | ニュースリリース | 古河電気工業株式会社](#)
31. [電線御三家、データセンター向け増強 古河電工は最大 5 倍](#)
32. [Product Catalogs | Products | Furukawa Electric Co., Ltd.](#)
33. [2024 | ニュースリリース | 古河電気工業株式会社](#)
34. [製品情報 | 古河電気工業株式会社](#)
35. [News Release – Furukawa Electric Co., Ltd.](#)
36. [電力用ケーブル保護管「SFVP®」のラインナップを拡充 | 2024](#)
37. [古河電工、光ファイバからの輝度で世界最高レベルとなる出力 ...](#)
38. [News Release | Furukawa Electric Co., Ltd.](#)
39. [ニュースリリース / お知らせ一覧 – サステナビリティ](#)
40. [サプライチェーン全体の脱炭素化は持続可能な未来を残すため ...](#)
41. [News Release | Furukawa Electric Co., Ltd.](#)
42. [2025 年 – Furukawa Electric Co., Ltd.](#)
43. [新規領域 – 古河電工](#)
44. [Furukawa Electric announces simplified absorption – type split ...](#)
45. [【投資】核融合は「特需」に～トカマクエナジー社と古河電工 ...](#)
46. [2024 | News Release | Furukawa Electric Co., Ltd.](#)
47. [古河電工](#)
48. [New businesses and products | Furukawa Electric Co., Ltd](#)
49. [弁理士不足に苦しむ特許事務所、今後 10 年で最大 1400 人減少](#)
50. [KIT 虎ノ門大学院（金沢工業大学大学院） – X](#)
51. [ピックアップ 15 年 12 月](#)
52. [KIT 虎ノ門大学院イノベーションマネジメント研究科の設立 20 ...](#)
53. [jpn.wordlist – GitHub](#)
54. [社長・実業家という職業の出身大学別有名人](#)
55. [東京大学大学院工学系研究科・工学部 – ユニオンペディア](#)